

令和8年度 教 育 計 画						学校番号 23	
松山市立余土小学校							
校長名	濱石 一利	学級数	28 (5)	児 童 生徒数	740	教職員数	40

(校訓) やさしく かしく たくましく

一粒米の精神

やさしく 一粒の米が大切のように、自分や友達の命、自然を大切にしよう。(共生)
 かしく 一粒の米のように大きな望みをもち、向上の努力をしよう。(自律)
 たくましく 一粒の米には隠された力がある。自分の力を信じて、たくましく生きよう。
 (チャレンジ)

めざす児童像「よどよいこ」

よい子 よどの子 やさしい子
 どんなときにも がんばる子
 よく見 よく聞き 考える子
 いつも いきいき 元気な子
 ことば はっきり 話せる子

めざす教職員像

- 人間性豊かな教職員
- 子どもとともに学ぶ教職員

めざす学校像

(子ども) 明日も行きたくなる学校
 (家 庭) 子どもを通わせたい学校
 (地 域) 誇りに思う学校

(学校の教育目標)

『人を大切にする学校』 共生・自律・チャレンジ



家庭

生活の基礎を学ぶ場
 やすらぎ応援団

【児童の学びの充実につながる働き方改革の推進】

- PDCAサイクルを確立した学校評価の実施
- 学年だよりやHPの充実
- 地域と目標やビジョンを共有する「コミュニティスクール」の導入



地域

学びを広げる場
 わくわく応援団

余土小学校は、一粒米の精神を継承・創造し、家庭・地域とともに、
 「我が街『余土』を誇りに思う子」
 「予測困難な時代を強く生きていく子」を育てていきます。

重点目標	1 「やさしく」に迫る教育の推進 ～「人を大切にする力」を育てる～ ○ 自他を大切にする人権・同和教育の推進 ○ 一人ひとりを見つめる特別支援教育の充実 ○ いじめや差別を許さない規律ある集団づくり ○ 笑顔あふれる挨拶の推進と人とよりよい関係を築く力の育成 2 「かしこく」に迫る教育の推進 ～「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」を育てる～ ○ 「知りたい」「分かった」「できた」が実感できる授業の創造 ○ 読書習慣の定着 ○ 互いの歌声を響かせる集団づくり ○ 夢や目標の実現につながるキャリア教育の充実 3 「たくましく」に迫る教育の推進 ～「チャレンジする力」を育てる～ ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ （集中力・忍耐力・やり抜く力等）非認知能力の醸成 ○ 健康安全・防災教育の充実 ○ 豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成
管理運営	1 人的管理 (1) 互いの強みを生かす組織づくり (2) 組織力を生かした人材育成 (3) 子どもと向き合う時間の確保と教職員の健康増進につながる業務改善の推進 2 物的管理 (1) 実行性のある安全点検の実施 (2) 施設・設備・備品の計画的な整備と適切な管理、効果的な活用 (3) 非常変災対策の定期的な見直しと確認 3 事務管理 (1) 適正かつ効率的な事務処理の徹底 (2) 情報管理の徹底と個人情報保護の確保 (3) 共同学校事務室を基盤とした組織的な運営
本校教育の特色	余土校区に脈々と流れる創立 136 年の輝かしい歴史と、「教育立村」の伝統並びに「一粒米」の精神を根底に据え、先輩が築き上げた校風の継承と、社会情勢や教育環境の変化に応じた新たな伝統の創造に努める。 また、地域の宝「余土っ子」の幸せのために、教職員が子どもと向き合う時間を確保するとともに、学校、家庭、地域社会が連携及び協働して、地域に根ざした特色ある教育活動と子どもの夢を支援する活動の展開を通して、温もりと信頼のある笑顔つながる学校づくりを推進する。 さらに、こうした教育活動を継続し、将来を見据えて「我が街『余土』を誇りに思う子」「予測困難な時代を強く生きていく子」の育成を目指していく。